

だれでも どこでも いつでも 楽しめる 音楽療法

ミュージック・ケア

第29回 全国セミナー [愛媛]

日時: 2026年8月15日(土)・16日(日)・17日(月)

会場: 愛媛県県民文化会館 愛媛県松山市道後町2丁目5-1

主催

NPO法人 日本ミュージック・ケア協会

共催

加佐ノ岬倶楽部音楽療法研究所
愛媛ミュージック・ケア(合同)研究会

後援:(申請中)

公益財団法人 日本知的障害者福祉協会
公益社団法人 日本重症心身障害福祉協会
特定非営利活動法人 おもちゃの図書館全国連絡会
日本デイケア学会
公益社団法人 日本認知症グループホーム協会
愛媛県 / 松山市
愛媛県教育委員会 / 松山市教育委員会
四国地区知的障害者福祉協会
特定非営利活動法人 愛媛県知的障害者福祉協会
社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
社会福祉法人 松山市社会福祉協議会
一般社団法人 愛媛県社会福祉士会
一般社団法人 愛媛県介護福祉士会
一般社団法人 愛媛県精神保健福祉士会
愛媛県保育協議会
一般財団法人 愛媛県私立幼稚園・認定こども園協会
社会福祉法人 愛媛県社会福祉事業団
愛媛県老人福祉施設協議会
愛媛新聞社

受けつぐ想い
明日への愛シター

~あなたの笑顔はわたしの愛顔~



日本ミュージック・ケア協会



団体所在地及び連絡先

NPO法人 日本ミュージック・ケア協会

〒922-0554 石川県加賀市橋立町ふ23 TEL/FAX 0761-75-2917

<https://www.music-care.net> E-mail info@music-care.net

受けつぐ想い 明日への^{ラフ}愛レター

～あなたの笑顔はわたしの^{えが}愛顔～

第29回 全国セミナー「愛媛」

日時：2026年 8月15日(土)～17日(月)

会場：愛媛県県民文化会館 愛媛県松山市道後町2丁目5-1

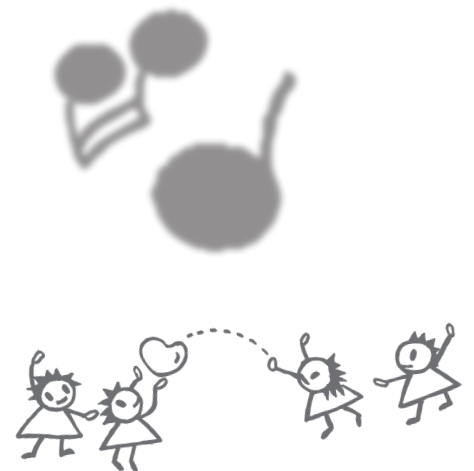
大会長：佐伯 美紀

日本ミュージック・ケア協会理事 認定指導者



スケジュール ●日程および内容は変更になる場合があります

8月15日(土)	8月16日(日)	8月17日(月)
8:00 30	8:00 30	8:00 30
9:00	9:00	9:00
受付	受付	受付
10:00 30	10:00 30	10:00 30
開会式 ★ミュージック・ケア 理論/実技Ⅰ オープニング 宮本 啓子	★ミュージック・ケア 理論/実技Ⅱ 「心(静的弛緩誘導)と 身体(神経学的音楽療法)のための ミュージック・ケア」 宮本 啓子	★ポスター発表 論文研究委員会 事例報告
11:00 30	11:00 30	11:00 30
12:00	12:00	12:00
昼食	昼食	昼食
13:00 30	13:00 30	13:00 30
ランチタイムコンサート ハーモニアス楽団 ★基調講演 『受けつぐ想い 明日への愛レター ～あなたの笑顔はわたしの愛顔～』 佐伯 美紀	市民公開講座 ★ミュージック・ケア 理論/実技 「だれでも・どこでも・いつでも」 楽しめるミュージック・ケア 宮本 啓子	★講演 『ヒトはどのように自分の心を調整するのか』 松本 健一
14:00 30	14:00 30	14:00 30
★定期講演 『ケアにおける自律と他律 …自分をゆだねるという自律』 佐藤 俊一	★特別講演 秋川 雅史	★ミュージック・ケア たしかめあい ふかめあい ミュージック・ケア理論 / 実技 / 応用を楽しむ 宮本 啓子
15:00 30	15:00 30	15:00 30
★全体発表・講演 研究発表 講演 西島 千尋・宮本 啓子	★ワークショップ 1 高齢者 吉田 茂樹 2 障がい者 加藤 善之 3 発達障がい・精神障がい 下村 泰斗 4 こども園 伊藤 美恵 5 特別支援学校 松浦 千賀	閉会式
16:00 30	16:00 30	16:00 30
総会	レセプション受付	
17:00 30	17:00 30	17:00 30
フリータイム 松山の夜をお楽しみください	レセプション 懇親会 会場 ●愛媛県県民文化会館 真珠の間 食事を楽しみながら親睦を深めましょう	
18:00 30	18:00 30	18:00 30
19:00	19:00	19:00
20:00 30	20:00 30	20:00 30
21:00 30	21:00 30	21:00 30



お誘い

ミュージック・ケアは対人援助技術を学ぶこと 「心のケア・発達支援・機能回復支援・発話支援」に効果的



NPO法人日本ミュージック・ケア協会

理事長 宮本啓子

日本ミュージック・ケア協会第29回全国セミナーを愛媛県松山市でやっと開催することができます。2020年にこの地で開催するため準備が着々とされていた時に、コロナウイルス感染症が全国に広がり、やむなく取りやめにしなければならない事態となりました。それから6年が経ちました。やっとこの地で開催する運びとなりました。その間、日本ミュージック・ケア協会の会員の皆様は、継続のための活動を地道に続けてきました。

この地で全国セミナーを開催したかったのは、故加賀谷哲郎先生が、自らが集団音楽療法の技術と心を伝えるために何度も訪れてきたところでもあったからです。今も、その時の加賀谷先生のレジメを片手に持ってこられる方がおられます。まだまだ、コロナ禍の影響は福祉や保育、教育の現場では残っていますが、全国セミナーを開催できるまでに元気になり、私たちが大勢で松山市に集まることができるようになったことを、心から嬉しく思います。

また、ミュージック・ケアは、故加賀谷哲郎先生が開発したメソッドを基本に、その方法と理論を先生亡き後40年にわたり、全国セミナーを開催しながら多くの方々の叡智をまとめながら作り上げてきました。

さらに、ミュージック・ケアは音楽の特性を活用して関係性の発見と改善を促し、自らが生きようとする力、成長しようとする力を回復・醸成することを目的としています。結果、発達支援・機能回復支援・言葉の誘発・認知機能の支援などはもちろん、重症心身障がい、発達障がい、認知症予防、フレイル予防など多方面のアプローチが可能であります。そこには奇跡のような効果を見ることも多々あり、裏づけとなる理論も整理されてきました。

ミュージック・ケアは音楽の力を活用し、「心のケア」「発達支援」「身体機能訓練」「発話訓練」「認知機能の発達」に影響を与えることができ、「あるがまま・共にいること・生きること」「ダメとは言わない・無理やりさせない・したくなるまで待つ」などを大切にすることで、対人援助技術としても大いに役に立つと思います。

そして、福祉や教育や保育や介護等の命に係わる現場の中で、ミュージック・ケアを学び実践していただけることを願っています。

多くの皆様の参加をお待ちしています。



1日目 8月15日(土)

開会式 10:00 ~



ミュージック・ケア 理論/実技I — 10:00~12:00

オープニング

- 「日本文化の中で生まれたミュージック・ケア」
- 「オノマトペ（擬態語 - 擬音）」を使ったミュージック・ケア」
- 「加賀谷哲郎先生の考案した基本曲」の意味



宮本 啓子

日本ミュージック・ケア協会 理事長
日本音楽療法学会認定音楽療法士
同学会 評議員/信越・北陸支部支部長

1984年より加賀谷式集団音楽療法全国夏期セミナー実技・理論講師を務める。1996年に宮本啓子音楽療法研究所(現:加佐ノ岬倶楽部音楽療法研究所)を設立。1997年に日本ミュージック・ケア協会を設立。以降、毎年全国セミナーを開催。2000年より台湾にてミュージック・ケアの普及活動に務める。2007年より隔年ごとに台湾全国セミナーを開催。2004年10月と2006年2月、コロラド州立大学にて神経学的音楽療法を学ぶ。2021年第21回日本音楽療法学会学術大会にて大会長を務める。

ランチタイムコンサート

12:45~13:15

ハーモニアス楽団

障がいの有無も楽器の種類も問わないインクルーシブ楽団です。「みんなで奏でる楽しみ」を大切にし、障がいのある人もない人も音楽を通じて共に歩み、楽しみ、笑顔になれたらいいなという想いと共生社会の実現を促進するコミュニケーションの拠点となることを目指し活動しています。



基調講演

13:15~14:45

『受けつぐ想い 明日への愛^{ラブ}レター ~あなたの笑顔はわたしの愛^{えがお}顔~』

長年にわたって実践してきた知的障がい者施設でのミュージック・ケアで実感してきたこと「だれでも どこでも いつでも…どんな人でも1つのステージで楽しめるのがミュージック・ケア♪」楽しみ方は人それぞれだけど、なぜかふんわりと1つにまとまって、何とも言えない心地よい安心感に包まれる。お互いの存在を認めあい笑顔を伝えあう…そんなミュージック・ケアを会場の皆さんで体験できたらと思います。

佐伯 美紀

大会長:日本ミュージック・ケア協会理事 認定指導者



定期講演

15:00~16:30

『ケアにおける自律と他律…自分をゆだねるという自律』

佐藤 俊一

NPO法人スピリチュアルケア研究会ちば理事長
日本ソーシャルワーク学会理事

約30年に亘り大学においてソーシャルワーカーを主として、対人支援職の「人にかかわる力」を身につけるための教育と研究に従事。現在は、退職して実践力を向上させるための研修として、ソーシャルワーカー、ケアマネジャー、セラピスト、看護職などの対人支援職のグループスーパービジョンを中心に研修活動を行っています。

今回のテーマについて：

ケアを実践する支援者は、専門職としての自律が求められます。自律の一般的な理解は、確固たる自己を確立し、自身の立てた規範に従って行動できることです。このように考えると、一人でケアをできる人と思われるかもしれませんが、ところが、ケアは支援者が一人ではなく、最初から相手との関係において行われます。また、治療と異なり、一方的に行うことはできず、相手の協力があって実践できます。ケアの基盤には相互性がありますが、どのように生まれ、活かされるのでしょうか。支援者の対人へのかかわりが常に問われていることがわかります。

自明としている自律への問いが、ケアを実践することで生まれます。ケアの特性を理解すれば、関係のなかで動けることが、自律した専門職に求められることが明確になるでしょう。そのため、相手や自分を超越るものに身をゆだねるといふ他律が不可欠となります。ところが、他律は主体的でない、従属している等の価値が低いものとみなされています。相反するように見える他律の理解を通して改めて自律するとは、また自律がもたらす可能性を皆さまで一緒に考えていきます。



全体発表・講演

16:45~18:00

< 研究発表 > 二題発表

コメンテーター： 西島 千尋

金沢大学人間社会研究域准教授

富山県生まれ。博士(学術)。金沢大学人間社会研究域准教授。
主著に『クラシック音楽は、なぜ〈鑑賞〉されるのか—近代日本と西洋音楽の受容』(新曜社、2010)、共著に『学校音楽文化論：人・モノ・制度の諸相からコンテキストを探る』(東信堂、2024)や『よくわかる音楽教育学』(ミネルヴァ書房、2023)、共訳に『ミュージッキング—音楽は〈行為〉である』(クリストファー・スモール著、水声社、2011)などがある。2021年に上梓された『音楽の未明からの思考—ミュージッキングを超えて』(アルテスパブリッシング、2021)ではフィールドワーク調査をもとに音楽療法についてまとめている。2026年7月、ミュージック・ケアについての単著『ケアの現場で音楽する』(世界思想社)が刊行予定。

宮本 啓子

日本ミュージック・ケア協会 理事長
日本音楽療法学会認定音楽療法士
同学会 評議員/信越・北陸支部支部長



< 講演 >

- 『ケアの現場で音楽する』執筆過程での気づき—当事者とは誰か? 「ニーズ」はどこにあるのか?

総会 18:15~18:45

2日目 8月16日(日)



ミュージック・ケア 理論/実技II — 9:30~11:45

「心(静的弛緩誘導)と身体(神経学的音楽療法)の為のミュージック・ケア」

- 身体表情表現
- 感動する心
- 表現愛
- キーポジション
- 1/f ゆらぎ

宮本 啓子

日本ミュージック・ケア協会 理事長
日本音楽療法学会認定音楽療法士
同学会 評議員/信越・北陸支部支部長





ミュージック・ケア 理論／実技 — 12:45～14:15

「だれでも・どこでも・いつでも」楽しめるミュージック・ケア

- 一人ひとりの子どもたちの成長の為のミュージック・ケア！ 宮本 啓子
(発達障がい・ダウン症・重症心身障がい児)

日本ミュージック・ケア協会 理事長
日本音楽療法学会認定音楽療法士
同学会 評議員／信越・北陸支部支部長



★ 特別講演 ————— 14:30～16:00

秋川 雅史



1967年、愛媛県西条市生まれ。父の指導のもと声楽の道へ進む。
2005年、アルバム『威風堂々』をリリースし、収録曲「千の風になって」が大きな話題をよび、翌年シングルカット。
2006年、第57回NHK紅白歌合戦に初出場し、通算4度の出場を果たす。
2007年には「千の風になって」でクラシック歌手として史上初となるオリコンシングルチャート1位を獲得し、130万枚を売り上げ、第47回日本レコード大賞特別賞を受賞。
2021年には第105回記念二科展彫刻部門にて「木彫楠公像」が初入選。
以後5年連続で入選を果たし、現在は歌手と彫刻家の二刀流として活躍。
2025年、自身初の完全書き下ろし書籍『子育てこそ最高の生きがい 私の考える教育』を出版。



ワークショップ ————— 16:30～18:00

日本ミュージック・ケア協会認定指導者

1 高齢者

【内容】今回のワークショップでは、30年間の実践現場の中で学ばせていただいた中から、フレイルや認知症の予防に重点を置いたプログラム体験と解説をさせていただきます。

吉田 茂樹

安宅・板津高齢者総合相談センター(地域包括支援センター)センター長補佐
居宅介護支援事業所ファミール所長
デイサービスセンターファミールにて、主任生活相談員・社会福祉士・主任介護支援専門員・准看護師・認知症地域支援推進員として勤務。

2 障がい者

【内容】今回のワークショップでは、知的障がい者入所施設重度棟におけるミュージック・ケアのセッションから学ばせていただいたこと、感じてきたことを中心に、実践現場で体験したエピソードを交えながらセッションをご紹介します。「あるがまま」を大切にしたいから、言語ではないコール＆レスポンスで、安心感と笑顔が溢れる時間と空間を共有したいと思います。

加藤 善之

元福祉施設職員

3 発達障がい・精神障がい

【内容】発達障害の人に多く見られる特性として“待てない”というものがあります。しかし、現代に生きる人はみな待つことの少ない生活をしていて、多かれ少なかれ待つことが苦手と考えます。そんな今こそ音楽を!! 音楽には動だけでなく静があり、間・呼吸・響き・余韻・気配があります。音楽を大事にするミュージック・ケアのメソッドは待てない人に“待つこと”を教えてくださいたいと思います。

下村 泰斗

精神科医・音楽療法士・ピアニスト



4 こども園

伊藤 美恵

NPO法人こらばねっと京都 理事長・統括施設長
日本音楽療法学会認定音楽療法士

【内容】幼児期の子ども達が集団で見せる姿が変わりつつあります。お友達と一緒に遊ぶことを楽しめない子、保護者や先生など身近なおとなに自然に甘えられない子、集団生活や活動の約束事が理解できない子。子ども自身の障がいや特性のせいだけではなく、子どもの育ちを支えるための環境が危うくなってきているように思います。保護者も、指導者もそして子ども自身も♪楽しく、♥気持ちよく、子どもの社会性が自然に育つための理論と方法がミュージック・ケアにはあります。明日からの保育に活かせるヒントを見つけてください。

5 特別支援学校

松浦 千賀

日本音楽療法学会 信越・北陸支部幹事、認定音楽療法士
石川県立錦城特別支援学校講師
医療法人社団 丹生会音楽療法士

【内容】2本柱を考えています。

1つ目は、特別支援学校関係者に向けて、ミュージック・ケアを「音楽」の教科として成立するために……。

2つ目は、私が今まで教師としてかかわってきた児童生徒とのミュージック・ケア

- 通学生、小学部、中学部高等部の児童生徒との取り組み
- 病院に入院している児童生徒と、多職種の方とのミュージック・ケア
- 在宅訪問児童生徒、保護者とのミュージック・ケア

レセプション 懇親・交流会 19:00~21:00
(受付18:30~)

別途申込必要

3日目 8月17日(月)



ポスター発表

9:30~10:45

事例報告

論文研究委員会

日本ミュージック・ケア協会委員会

事例をポスター(模造紙1枚)にまとめます。

掲示したポスターの前で事例報告(発表)をします。

発表者: 日本ミュージック・ケア協会会員一論文応募者



講演

11:00~12:30

『ヒトはどのように自分の心を調整するのか』

松本 健一

福井大学 客員教授(名誉教授)

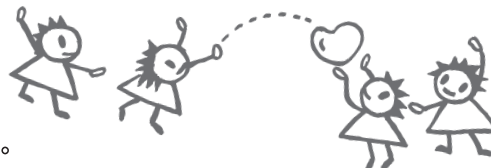
2025年まで福井大学副学長(理事)

現在、福井大学客員教授(名誉教授)

長野県の浅間山の山麓に在住

月に数度、福井大学に新幹線通勤

日々、学校の授業研究と園芸に勤しんでいる。



ミュージック・ケア たしかめあい ふかめあい 13:30~15:00

ミュージック・ケア理論 / 実技 / 応用を楽しむ

宮本 啓子

他 日本ミュージック・ケア協会認定指導者

日本ミュージック・ケア協会 理事長

間会式 15:00~15:15



だれでも どこでも いつでも 楽しめる 音楽療法



ミュージック・ケアとは

情緒の安定と発達、身体的機能の維持改善の為に必要な刺激や運動にあわせて、考案されたメソッドを使って行われる音楽療法の一つである。この方法は故加賀谷哲郎先生（日本音楽療法協会を設立・1983年没）が創案されたメソッドを基本に、その方法と理論を宮本啓子と日本ミュージック・ケア協会が体系化したものである

ミュージック・ケアの定義

音楽の特性の一部を利用して、その人がその人らしく生きるための援助をすることであり、子どもの場合はその子どもが持っている力を最大限に発揮させ、発達の援助を行うことである

あなたも
実践できます！

【参加対象者】

- 老人保健施設、特別養護老人ホーム、デイサービス等の老人福祉施設職員
- 知的障がい・自閉症・言語障がい・脳性マヒ等の児童・成人福祉施設職員
- 特別支援学校教員、特殊教育教員、幼稚園教諭、保育士等の教育関係職員
- 理学療法士、作業療法士、医師、看護師、保健師等の医療関係職員
- 音楽指導者、音楽療法士等の音楽関係者
- その他、ミュージック・ケアに興味のある方（本人、家族、ボランティア活動希望等）



ミュージック・ケアのねらい

音楽の特性を生かして、対象者の心身に快い刺激を与え、対人的な関係の質を向上させ、情緒の回復や安定を図る。さらに、運動感覚や知的機能の改善を促し、対象者の心身と生活に好ましい変化を与える

ミュージック・ケアの主な効果

関係性の発見と改善、コミュニケーション、情緒の安定、不安行動の軽減、自己コントロール、身体機能の促進、発達の促進、リラクゼーション、生きがい、集団参加の促進、注意集中力、リハビリ、介護予防、フレイル予防 等

参加申し込みは ホームページ（下記QRコード）よりお願いいたします

- ホームページからお申し込みください
- 昼食・レセプションの有無をご回答ください
- ワークショップの参加希望会場をご回答ください
- 1日参加ないし2日参加の希望者は参加日をご回答ください

◎ **申込期限** 7月31日(金) 23:59 まで **早割** 6月30日(火) 23:59 まで

◎ 振込先 郵便局

口座番号：00770-2-75467

口座名義：日本ミュージック・ケア協会 全国セミナー

◎ キャンセル・返金について

- 7月31日(金)までは、手数料2,000円+振込手数料を引いて返金いたします
- 8月1日(土)からは、返金できません。ご了承ください

注意事項

- ◇ 直接会場への問い合わせはご遠慮ください
- ◇ 振込先を間違えないよう、充分ご注意ください
- ◇ 申込後1週間以内に入金の確認ができない場合は、キャンセルとさせていただきます
- ◇ やむを得ない事情で送金が遅れる場合は、事前にご連絡ください
- ◇ 宿泊は各自で手配をお願いします
- ◇ 会場内に飲食物の持ち込みは可能ですが、ごみは各自でお持ち帰りください
- ◇ 持ち込みの飲食物は水気のもの（冷麺など）はご遠慮ください
- ◇ 熱中症対策として、飲料（蓋が閉まる物）を各自でご用意ください
- ◇ ホームページからの参加申込が難しい方は、日本ミュージック・ケア協会事務局にご連絡ください。申込の対応をさせていただきます
- ◇ 質問等お問い合わせは、日本ミュージック・ケア協会「加佐ノ岬倶楽部音楽療法研究所」までお願いします

参加費

すべて税込み価格です

【3日間参加費】

6月30日(火) までに申し込み	一般	19,000円
	会員	17,000円

7月1日(水) からの申し込み	一般	21,000円
	会員	19,000円

【1日参加費】

9,000円

レセプション参加費 8,000円

弁当(昼食のみ) 1食 1,200円



お申し込み
問い合わせ先

NPO法人
日本ミュージック・ケア協会

加佐ノ岬倶楽部音楽療法研究所

〒922-0554
石川県加賀市橋立町ふ23
TEL / FAX 0761-75-2917
https://www.music-care.net
E-mail info@music-care.net

